*Opening remarks for the 29th annual meeting of
the Japanese Society of Inflammation and Regeneration*
*Kusuki Nishioka, MD & PhD**

第29回日本炎症・再生医学会開催に当たって

西岡 久寿樹*

このたび、第29回日本炎症・再生医学会を平成20年7月8日（火）から10日（木）、東京の都市センターホテルおよび赤坂プリンスホテルにて開催することになりました。本学会の歴史は古く、1972年4月に本学会の前身として「炎症研究会」が発足し、その炎症研究会を発展させた形で、1980年7月に「日本炎症学会」が発足いたしました。そして、2001年の第22回からは、再生医学と炎症学との融合を目指し、再生医学研究者とともに、現在の「日本炎症・再生医学会」へと大きく発展するに至っております。本学会を通じ、両分野の接点を明瞭化する努力をこれまで継続して参り、次第に交流が深まっているように思います。近年の両分野における医学研究の進歩は非常に目覚ましいものがあり、両分野の融合という大きな目標への模索は、まだまだ混沌（Chaos）としていると思います。

本学会では、今一度原点に立ち返り、一緒にそのChaosを整理し、炎症と再生の新機軸（Order）を探ることをテーマとし、さらに両分野にとどまらず、医学研究全体の将来の方向性を模索していくことを考えております。つきましては、これらの背景をふまえ、学会のプログラムにおいて新しい試みとして特別シンポジウムを企画いたしました。この特別シンポジウムは「Chaos & Order “炎症と再生の新機軸を探る”」をテーマに掲げ、その一つとしてカオスの新しいグローバルな価値観をサイエンスの分野でどのように展開していくかについて日本医学会高久文麿会長をお迎えして医学会のあり方について小生との対談を企画させていただきました。

“創造と改革”を各分野で実現してこられたご講演をいただく諸先生方には未来の医療政策、価値観の創造、起業と企業倫理、バイオベンチャーと新産業の育成などの内容に関しましてご講演いただく予定であります。また、新進気鋭の若手研究者らによる運動器疾患、炎症と再生研究の現状と将来に関する徹底討論という内容のコースレクチャーも企画いたしました。さらに、多くの諸先生方のご協力を頂き、より多くのシンポジウムや教育講演を実現することができ、炎症・再生領域の最新情報が得られるものと思います。どうぞ皆様多数ご参加いただき、活発にご議論いただくとともに、交流を深めていただきたいと思います。

最後になりましたが、本学会プログラムの企画・立案に多大なご協力をいただきました先生方に、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。また、本学会を開催するにあたりご支援いただいている炎症研究振興会、日本炎症・再生医学会事務局、および準備にあたった聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターのスタッフに心から感謝いたしますとともに、本学会がこれを機会にさらなる新しい分野に挑戦して画期的な創薬や治療方法の開発に向けて大きな弾みがつくことを期待しております。

* Institute Medicine Science, St. Marianna University school of Medicine, Arthritis Research Center, Prof. of Medicine & Director, Institute of Medical Science 聖マリアンナ医科大学教授、難病治療研究センター長

特別シンポジウム概要

日 時： 平成20年7月8日（火）15：00～18：30

会 場： 都市センターホテル 第1会場「コスモスホール」

テーマ： Chaos & Order “炎症と再生の新機軸を探る”

講演内容（順不同・予定）

◆講演

「イノベーション25に基づく医学・医療への政策提言」

黒川 清（政策研究大学院大学教授・日本医療政策機構代表理事）

「都市再生と価値創造」

岩沙弘道（三井不動産株式会社 代表取締役社長）

「起業と企業理念：株式会社新日本科学の目指すもの」

永田良一（株式会社新日本科学 代表取締役社長）

「生命・医科学に基づいた新産業の創造とバイオベンチャー」

新井賢一（東京大学名誉教授・SBIバイオテック株式会社 代表取締役社長）

◆パネルディスカッション

座長：西岡久寿樹（聖マリアンナ医科大学教授・難病治療研究センター長）

パネリスト：

黒川 清（政策研究大学院大学教授・日本医療政策機構代表理事）

永田良一（株式会社新日本科学 代表取締役社長）

新井賢一（東京大学名誉教授・SBIバイオテック株式会社 代表取締役社長）